

2019 年度活動助成 活動実績報告書

|       |                                       |
|-------|---------------------------------------|
| 団体名   | はずの会                                  |
| 活動テーマ | ・家族や愛する人を失った方々を支える<br>・グリーフケア提供者を養成する |



「はずの会」は、(1)家族や愛する人を失った方々を支える、(2)グリーフケア提供者を養成する、という二つの目的を持って、遺族のグリーフケアのための活動を助成金により実施した。

**(1)家族や愛する人を失った方々を支える活動:** 悲嘆を抱えながら生きていかなければならない遺族は「ほかの人はどのように日々を過ごしているのか知りたい」と言われる。悲嘆について学び、日常生活の問題を語り合える場としての茶話会を年3回計画した。第1回目は崇禅寺で仏教講話と座禅と茶話会を行った。お寺という空間が持つ力により癒され、自身を労われる時を過ごすことができたと言われた。第2回目はフォトフレーム作りと詩とエッセイの朗読と茶話会を開催した。亡き人を想いながらフォトフレームを作っていたので、亡き人との思い出を振り返る時が持てたと話された。第3回目は3月末に音楽会の予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により予防対策の観点から中止した。

**(2)グリーフケア提供者を養成する:** 4回の研修会を開催した。テーマは「遺族会の設立と運営」、「遺族会とは-遺族会全般についての学び-」、「遺族の語り」、「ファシリテーターの役割」、「遺族会で語られる死生観」、「グリーフケア提供者に必要なもの」で、グリーフケアの現場で活動している講師とはずの会のスタッフが講義とワークにより研修した。受講生からは遺族会の現場の実際を学ぶことができ参考になったとの声が多かった。また、遺族会のファシリテーターの難しさをワークで体験し、さらなる研鑽の必要性を感じたとの振り返りがあった。

この活動を通して、遺族の多様なニーズに応えることのできるケアと、そのケアの提供者を養成する活動を続けていくことの意義を再確認できた。この成果をこれからの活動に活かしていきたいと思う。